



‘ホーランドシア’ / T. ‘Hollandia’ (トライアンフ群)

チエーリツプ
四季だより

2000. 春号
Vol.14

ヒヨドリがホームステイに

やって来た

園芸研究家 市原 菊恵

「あの子かなア」
かわいいうさぎを一瞬止め、じつ
とこちらを見つめるヒヨドリに出合

うと、ヒーちゃんとした密月の四
十日が思い出されて心が騒ぐ。
それは二年前の春のこと。



春は植物の生長がめざましく、一年の中で一番園芸作業が忙しい時。予定を立ててから庭に出ても、まったく無しの状態に次々出合つて、その日の予定をこなしためしがない。それでも思わぬ生長振りに、ワクワク、ウキウキ。「はい、只今、只今。」植物につられて予定とは逆の方向へどんどん動いてしまう。

汗ばむ体にひんやりと土が気持ちいい。この日は、もう、ままとばかり、めつたに入らない隣りとの境まで入り、くもの巣かぶつてやぶこぎ状態になっていた。不意に、すぐ脇あたりで「クワア」「ピア」「クワア」となき声がある。四つんば

いそのまま首を回すと、びっくりする程近くにグレイの子猫がうずくまっている。「クワア」「ピア」「クワア」猫ではない、鳥、「鳥だア！」ドキドキしながらそうつと両手を伸ばすと、恐がる様子もなくすっぽりと手の中へ。ほんわりと温かい。幸い傷はどこにも無く、ストロー羽が沢山あるヒナ鳥だった。

急になんだかとても幸せな気分を満たされた。この小さな生物に触れることを許されたよろこびと、突然自然の方からやって来てくれる不思議。こんな出合いは、きつと神様からのプレゼントに違いない。

うれしい感動は、そのまま何かヒナ鳥の助けになりたい気持ちで駆り立てた。

親鳥に再会するのが一番いいに決まっている。保護したカゴの戸を開けたまま、二階のベランダで親鳥を待った。本で調べるとやはりヒヨドリ。けれど一日たっても、二日たっても、ママは一向に現れない。三日



目。ならばもう一度、ここから巣立たせてやろう。と、云う事で、まずは体力作りだ。「ママから何をもらっていたの？」旺盛な食欲に答えるべく、つり具屋でミミズ、ミルワーム、ぶどう虫（ハチの子）。小鳥屋では九官鳥用のエサを買い求めた。すると、ぶどう虫だけはよろこんで食べたが、今やすっかり食べ慣れた



キャットフードがお気に入り入りの様子。やつぱり巣立ちに向けてのレクチャ―は専門家に限る。野鳥公園に電話をすれば万事OKだ。

「すると、ベランダ続きの部屋に、二十四時間出入り自由ということですか、それならば違法飼育とは云えません。」と、聞きたい話は返ってこない。次は、上野動物園。濃厚そうな年配の相談員は、ひとしきり機関銃の様な質問に答えた後で、

「充分に飛び立てる状態なので、エサもやらず、完全に締め出してしまえば、やむなく巣立って行くでしょう。」

どうしてそんな事ができようか。

今や、呼べば飛んで来るし、行く先々について来て、水やりをすれば、バケツに割り込んで水あびをし、カラスが現れると、さっさと部屋へ逃げ込む。そして見知らぬ人が部屋に入れば威嚇飛行を繰り返す。興味つきない行動を目の当たりにし、可愛くて、面白くて、毎日がローレンツ気分だった。

でも、いずれは自然に帰って行くはず、その為に、一つだけ初日から守った事がある。

それは、日が落ちてからは朝までずっとしておくこと。だから、朝から始まるスキンシップも楽しい発見の連続だった。首すじを指で搔いてやると、気持ちよさそうに下から閉じる目、羽に隠された耳。尖ってよく動く舌。丈夫で幾重にもなっている風切り羽。驚く程大きく広がる翼。特に足の裏にはびっくり、表から見ると裏はもっと大きく、肉付きがいい。しかもその表面はザラついていてしっかりと枝に止まれるようになっていて。『ヒーちゃんて素晴らしいね、ゆっくり見せてくれてありがとう。』いつもそう云っては何度も見せてもらった。

一ヶ月もするとすっかり行動半径が広がり、庭にやって来るヒヨドリよりも大きく、なんだか堂々としている。そろそろ近いかも知れない。それから五日後、沢山の楽しい思い出を残して、決然と巣立って行った。思いがけない四十日のプレゼントは、心を今もポカポカと暖かくしてくれている。

*コンラート・ローレンツ

一九〇三年ウィーンに生まれる。子供の頃から大の動物好きで、たくさん動物を飼って暮らす。『人イヌにあう』『ソロモンの指輪』などの動物にかんする名著を著す。現代における動物行動学の世界的権威で、その偉大な業績により一九七三年にノーベル賞を受賞した。



略歴

いちばら きくえ



ハウスプランツディレクター。東京生まれ。春号・秋号NHKとびつきりガーデニング講師。住まいの周辺で、いろいろなスタイルの花と緑の楽しみ方を提案。各種園芸誌や講座の講師としても活躍中。主な著書『サボテン&チランシア』とびつきりガーデニング2(共著、NHK出版)。「草花の小さな庭作り」婦人画報社刊。

オランダ ORANDA KENBUNROKU 見聞録

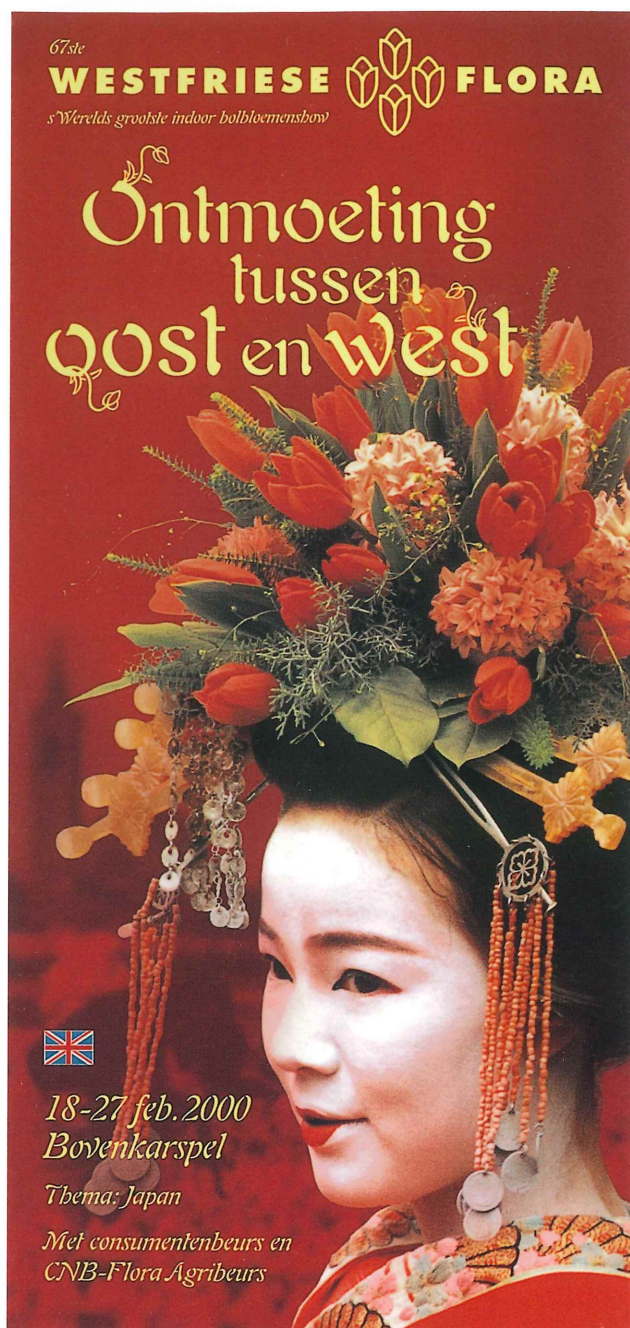
第六十七回西フリース ランドの花の博覧会

二〇〇〇年二月十八日から二十七日まで、オランダ・ボーベンカルペスで『第六十七回西フリースランドの花の博覧会』が開催されました。チューリップ四季だより第九号でも紹介しましたが、今年は日蘭交流四百周年を記念して、「日本」をテーマに様々な催しが行われました。

まだ日本では見られない チューリップ

今年、三月二日から六日までオランダ、プリンザンドで開催されたフラワースhowで紹介され、まだ日本には輸入されていない最新のチューリップを次のページでいくつか紹介します。

また、ステージ上では太鼓の演奏が行われたほか、お茶席が設けられるなど、日本の伝統的な文化に触れる機会が設けられ、四百周年を祝うにふさわしいイベントとなりました。



67ste
WESTFRIESE FLORA
's Werelds grootste indoor bolbloemenshow

Ontmoeting
tussen
Oost en West



18-27 feb. 2000
Bovenkarspel

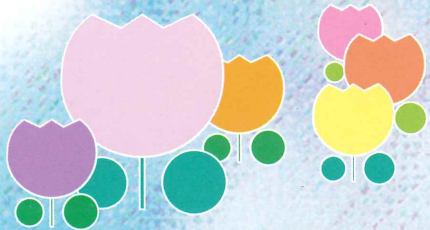
Thema: Japan

Met consumentenbeurs en
CNB-Flora Agribeurs

▲パンフレット

▼第67回西フリースランドの花の博覧会





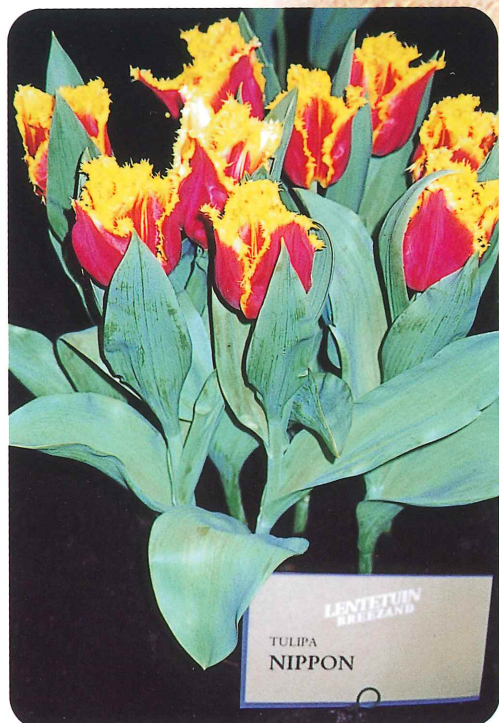
▲レッドハンター(野生種とその交配種)



▲ウルミエシス 'ティティーズ スター'
(野生種とその交配種)



▲ 'シルバー パーロット'
(パーロット咲き)



▲ 'ニッポン' (フリンジ咲き)



▲ 'ハニームーン' (フリンジ咲き)



年度版 の栽培状況

富山県

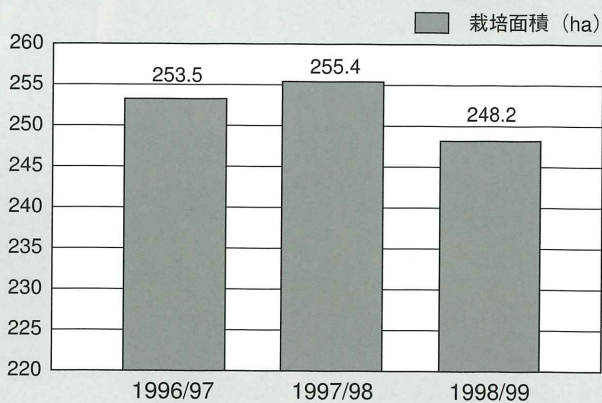


▲1位 '黄小町'

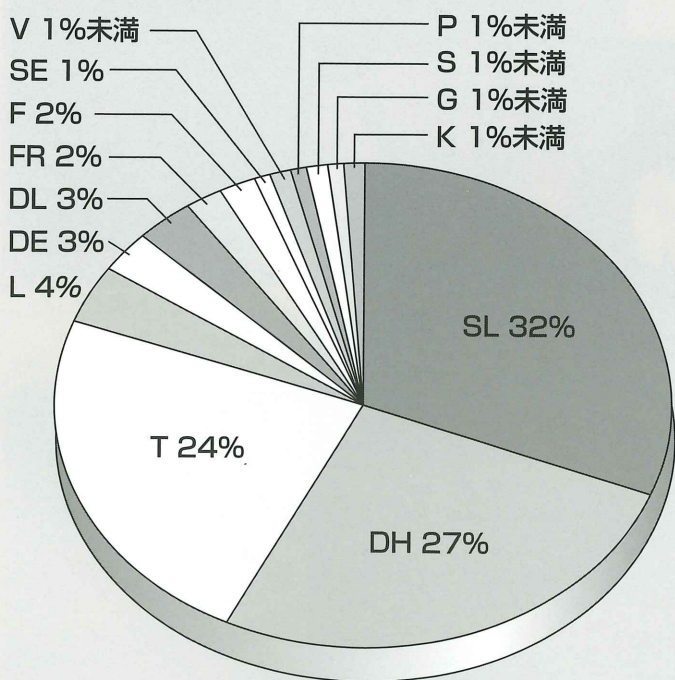


▲2位 '白雪姫'

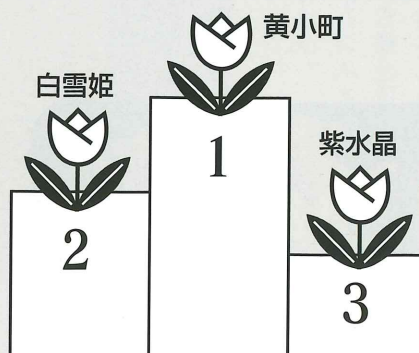
チューリップの球根栽培面積



系統別栽培面積割合



品種別栽培面積ベスト3



▲3位 '紫水晶'

P = パーロット咲き
DL = 八重遅咲き
K = カウフマニアナ群
F = フォステリアナ群

G = グレイギー群
S = 野生種とその交配種

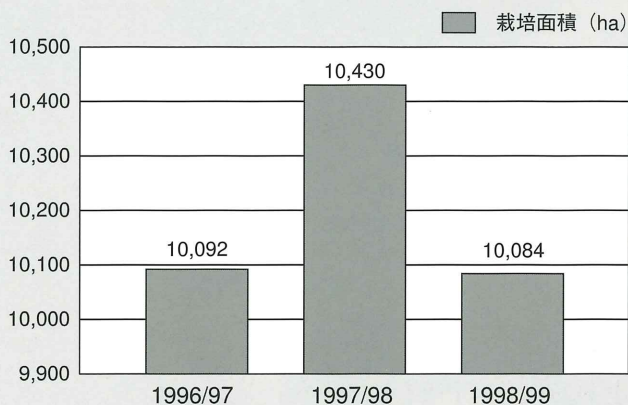
平成11 チューリップ

オランダ



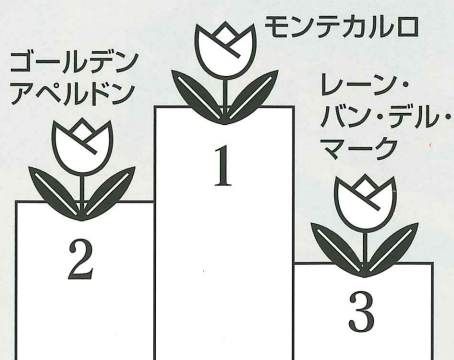
▲1位 'モンテカルロ'

チューリップの球根栽培面積

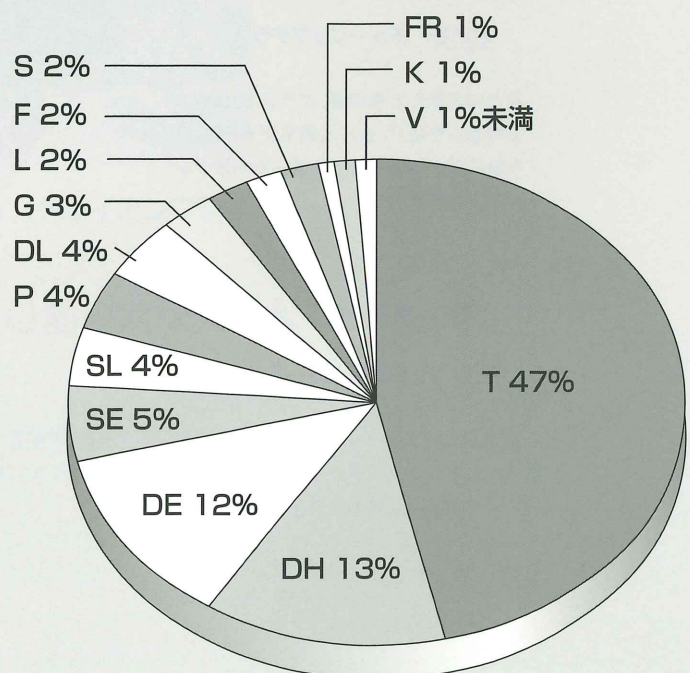


▲2位 'ゴールデン アペルドン'

品種別栽培面積ベスト3



系統別栽培面積割合



▲3位 'レーン・バン・デル・マーク'

SE = 一重早咲き

DE = 八重早咲き

T = トライアンフ群

DH = ダーウィン・ハイブリッド群

SL = 一重遅咲き

L = ユリ咲き

FR = フリンジ咲き

V = ビリデフローラ群

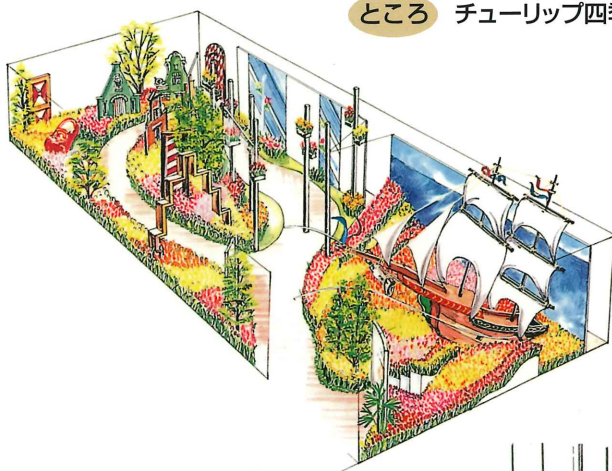
チューリップ四季彩館 からのお知らせ

2000となみチューリップフェア
～日蘭交流400周年記念特別企画～

『花のオランダ展』

と き 4月28日(金)から5月7日(日)
午前8時～午後6時(会期中無休)

ところ チューリップ四季彩館



“オランダとの出会い”

ところ チューリップホール1

オランダと日本を初めて結んだオランダ船デ・リーフデ(博愛)号をシンボルに花の国オランダとの出会いを祝福し、色とりどりのチューリップたちが咲き誇ります。

“オランダ紀行”

ところ チューリップテラス

花々に包まれた水の都、オランダ。伝統ある町並みを抜け、丘には風車がまわり、はね橋の架かる華の運河を渡ったらオランダまでの小旅行ー



オランダ資料展 “オランダへの誘い”

ところ 2階セミナールーム

世界最大のチューリップ公園「キューケンホフ公園」の写真パネルやオランダの民族衣装、木靴、デルフト焼のタイルなど花の国オランダの風景や文化に触れてみませんか。

※チューリップフェア期間中は、
チューリップ四季彩館単独での
ご入場はできません。



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP GALLERY

(財)砺波市花と緑の財団

〒939-1381 砺波市中村100-1 ☎(0763)-33-7716 FAX(0763)-33-0090

URL <http://www.city.tonami.toyama.jp/>

2000年4月1日発行